

事業企画書

団体名	楽しいね東目屋！実行委員会		
事業名	東目屋地区活性の為の回覧板新聞発行事業 ※ 新規 ・ 継続 (同じ事業での申請 _____ 回目)		
事業実施 予定の期間	平成 26年 7月 1日 ~ 平成 27年 3月 31日		
事業実施 予定の場所	弘前市東目屋地区	参加予定の 人数	東目屋地区の住民数 約 2,200 人 (うち構成員数 6 人)

○今回申請する事業についてお書きください。

この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。 【審査の視点：必要性】	<p>(きっかけ)</p> <p>東目屋地区の少子高齢化、過疎化の波は顕著で、かつて行われていた地域の運動会やお祭りも無くなり、住民同士のコミュニケーションが希薄になっている。独居老人世帯も増え、孤独感と不安感を感じる住民も増えている。</p> <p>(目的)</p> <p>住民が今よりも東目屋で暮らすことに誇りと喜びを感じ、もっと東目屋での生活を楽しみたいと思えるようにしたい。さらに、誰もが安心して住める地域になるよう、東目屋地区全体で子供たちやお年寄りを守るという一体感を深めたい。</p>
この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。 【審査の視点：公益性、実現性】	<p>(対象となる人)</p> <p>東目屋地区に在住するすべての人々</p> <p>(内容・方法)</p> <p>月に一回「いつ・もの・こと東目屋回覧板」を発行し、東目屋で活躍している人物の紹介や、地域のさまざまな活動や情報を共有する。指導員としていつ・もの・こと弘前版編集部で活動していた方に会議や編集に参加していただき、住民も気軽に編集に参加できるよう公開編集会議を開催したり、新聞をきっかけに住民同士が会話したり、交流できる機会をつくっていく。</p>
	<p>※事業名の欄で「継続」と回答した団体のみお書きください。 (新たな内容や改善点など、前回との違い)</p>

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】
 (準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
26年7月上旬	会議・取材・編集	東目屋	午前6時 ～午後10時	2～7人
26年7月10日 26年7月15日	印刷を依頼 東目屋地区町会が広報と一緒に「いつ・もの・こと」を配布	東目屋		11人
26年8月上旬	会議・取材・編集	東目屋	午前6時 ～午後10時	2～7人
26年8月10日 26年8月15日	印刷を依頼 東目屋地区町会が広報と一緒に「いつ・もの・こと」を配布	東目屋		11人
26年9月上旬	会議・取材・編集	東目屋	午前6時 ～午後10時	2～7人
26年9月10日 26年9月15日	印刷を依頼 東目屋地区町会が広報と一緒に「いつ・もの・こと」を配布	東目屋		11人
26年10月上旬	会議・取材・編集	東目屋	午前6時 ～午後10時	2～7人
26年10月10日 26年10月15日	印刷を依頼 東目屋地区町会が広報と一緒に「いつ・もの・こと」を配布	東目屋		11人
26年11月上旬	会議・取材・編集	東目屋	午前6時 ～午後10時	2～7人
26年11月10日 26年11月15日	印刷を依頼 東目屋地区町会が広報と一緒に「いつ・もの・こと」を配布	東目屋		11人
26年12月上旬	会議・取材・編集	東目屋	午前6時	2～7人

<p>26年12月10日 26年12月15日</p>	<p>印刷を依頼 東目屋地区町会が広報と一 緒に「いつ・もの・こと」を 配布</p>	<p>東目屋</p>	<p>～午後10時</p>	<p>11人</p>
--------------------------------	--	------------	---------------	------------

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の会話や、触れ合いの機会が増える。 ・同じ情報を共有することで、地域としての一体感が強まる。 ・地域活動への参加意識が高まる。 ・東目屋に住むことへの誇りや喜びが増し、もっと楽しく生きようと思える。
--	---

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

<p>来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。</p>	<p>取材や編集に住民がより参加する形で東目屋回覧板新聞の発行を継続させたい。さらには、住民間のコミュニケーションが増え、地域の活動が活発になり、かつてのように地域住民が一堂に会すお祭りやイベントが行われるようになればと考える。</p>
--	--

○来年度以降の財源についてお書きください。

<p>来年度以降も、補助金申請を要望しますか。</p>	<p>(<input checked="" type="radio"/> 要望する) ・ (<input type="radio"/> 要望しない)</p> <p>↳ いつまでをお考えですか。平成(27)年まで</p> <p>※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。</p>
-----------------------------	--

○他の補助制度の活用についてお書きください。

<p>今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。</p>	<p>(<input checked="" type="radio"/> 無) ・ (<input type="radio"/> 有 (補助制度の名称：))</p>
--	---

○保険についてお書きください。

<p>事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。</p>	<p>(<input checked="" type="radio"/> 加入しない) ・ (<input type="radio"/> 加入する (保険の名称：))</p>
-------------------------------	--

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

収支予算書

【審査の視点：費用の妥当性】

1 収入

(単位:円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要
市民参加型まちづくり1%システム支援補助金	500,000 /	500,000	
参加費			
協賛金	60,000 /		10,000×6回
団体会費	1,840 /		
収入合計	561,840 /		※支出の合計と同額

2 支出

(単位:円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要
講師等謝礼			
交通費	42,720 /	42,720	
消耗品費及び原材料費			
食糧費	2,400 /	2,400	
燃料費			
印刷製本費	358,800 /	358,800	
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料	28,320 /	28,320	
その他経費	129,600 /	129,600	
支出合計	561,840 /	561,840	

補助金の額の算定根拠	① (補助対象経費) × (補助率0.9) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 561,840 × 0.9 ≒ 505,000 /
	② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 561,840 - 60,000 ≒ 501,000 /
	① ②のいずれか少ない額 (補助金申請額) 500,000 / 円 (原則 50万円を限度)

3 支出内訳書

(NO. 1)
(単位: 円)

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
講師等謝礼						
交通費	指導員(会議・編集)	24	1,780	42,720	42,720	1,780円(バス 運賃片道 890 円)×4回会議 ×6回発行
消耗品費及び 原材料費						
食糧費	お茶代(指導員)	24	100	2,400	2,400	お茶(100円) ×4回会議×6 回
燃料費						
印刷製本費	新聞印刷 (やまと印刷)	6	55,000 減価 4500	356,400	356,400	タブロイド版 4P×900部+ 消費税
	会議資料作成	24	100	2,400	2,400	A3.(10円)× 10部×4回会 議×6回発行
通信運搬費						
保険料						
使用料及び 賃借料	会議室使用料 (ふれあいセンター)	24	1,180	28,320	28,320	会議室(午後) ×4回会議×6 回

